

お願い！！

Ver 900にアップデートする前に、

(1) クリーンアップ を行って

(2) 必ず、バックアップ をとって下さい。

ピアツーピア、クラサバのお客様は、全てのパソコンでアップデートをして下さい。

※持ち運びオプションを使用してデータを持ち出している場合は、すべてのパソコンのアップデートができません。必ず、すべてのパソコンを事業所に持ち帰り、データを戻して(モバイル状態でなくして)アップデートしてください。



ご注意！

Ver 900へのバージョンアップが終わったら・・



(1) すべての事業所の**地域区分**を確認してください。

地域区分が変わった市町村では、すべての事業所の地域区分を新しい区分に変えてください。

(2) **介護職員処遇改善加算**は、事業所登録では、各サービスとも“なし”に設定されています。処遇改善加算を算定する事業所は、その事業所の**サービス登録**で加算を設定してください。加算は、満たす要件によって次の3種類があります。

“加算Ⅰ”・・100%

“加算Ⅱ”・・ 90%

“加算Ⅲ”・・ 80%

『介護保険』の Ver 9.0.0 のCD-ROMの内容

2011.3.24 (株)フォーエヴァー

※Ver 9.0.0のCD-ROMは、すべてのお客様にお届けしています。

- (1) Ver 9.0.0は、Ver 8.4.0をアップデートするものです。他のバージョンからアップデートすることはできません。
- (2) Ver 9.0.0のCD-ROMで、新規にインストールすることができます。
- (3) クラサバのお客様は、弊社または販売協力会社の者がお伺いしてアップデート作業を行います。
- (4) 持ち運びオプション(モバイル)を使用してデータを持ち出している場合は、すべてのパソコンのアップデートができません。必ず、すべてのパソコンを事業所に持ち帰り、データを戻して(モバイル状態でなくして)アップデートしてください。
- (5) Ver 9.0.0は、単位数などの元になっている国保中央会の「標準マスタ」は暫定版です。従いまして、4月に確定版の標準マスタを組み込んだ**Ver 9.1.0**をリリースする予定です。国保連への請求CSVは、必ず、Ver 9.1.0で作成してください。
- (6) Ver 9.0.0のCD-ROMの中には操作マニュアルは入っていません。操作マニュアルは、後日、ホームページで公開します。

[機能制限などについて]

- (7) Ver 9.0.0は使用に際していくつかの**機能制限**があります。この機能制限は、後日リリースする**Ver 9.2.0**で解消させる予定です。
- (8) 『まい・ホーム』、『まい・ハウス』は今回の報酬改定には対応できていませんので、両製品をお使いのお客様はまことに恐れ入りますが、『まい・レセプト』の“**提供サービス入力**”を使用して国保連への請求CSVを作成してください。
『まい・ホーム』、『まい・ハウス』はVer 9.2.0で対応予定です。なにとぞご了承ください。

今後の弊社ホームページの情報にご留意ください。

弊社ホームページは・・・ <http://www.fvr.co.jp/>

本書の内容

- Ver 8.4.0→Ver 9.0.0への移行留意点 ..必ずお読みください
- Ver 9.0.0の機能制限 ..必ずお読みください
- Ver 9.0.0の留意点 ..必ずお読みください
- Ver 9.0.0での改善 ..必ずお読みください

■ Ver 8.4.0→Ver 9.0.0への移行留意点

ご承知のように、今回の報酬改定で地域区分が変わりました。また、多くのサービスで介護職員処遇改善加算などができたため、事業所施設区分(いわゆる“型”)も変わっています。Ver 900では、このように事業所施設区分などが変わったサービスは、事業所登録のサービス内容登録では、平成24年3月31日でいったん履歴が切れ、平成24年4月1日～の履歴が自動的に追加されています。そして、追加された加算や体制などは、原則として、“なし”や“見なしされているもの”に設定されています。

従いまして、**Ver 900では、平成24年4月1日以降について、必ず、地域区分と、すべての事業所の施設区分などを確認して、違っている場合は適しているものに変更してください。**

1. 地域区分

地域区分は1級地・2級地・3級地・4級地・5級地・6級地・その他になりましたが、Ver 900では、次のように移行されます。

	旧	新
①	特別区	→ 1級地
②	特甲地	→ 4級地
③	甲地	→ 5級地
④	乙地	→ 6級地
⑤	その他	→ その他

①②③④では、事業所登録では、平成24年3月31日でいったん履歴が切れ、平成24年4月1日～の履歴が自動的に追加されています。従って、旧特甲地で2級地・3級地となった事業所では、4級地となっている級地区分を2級地・3級地に変更してください。また、旧その他から6級地になった市町村がたくさんありますが、このように、地域区分が変わった市町村の事業所は、必ず、平成24年3月31日でいったん履歴を切って、平成24年4月1日～の新しい地域区分の履歴を追加してください。

[経過措置がある市町の事業所]

兵庫県伊丹市・川西市は、経過措置により、平成27年3月31日までは5級地の2としてください。

東京都東大和市・武蔵村山市、大阪府熊取町、兵庫県明石市は、経過措置により、平成27年3月31日までは6級地の2としてください。

なお、事業所登録画面では級地区分の並びにご留意ください。

2. 事業所施設区分など・サービス名の後ろの数字は該当するサービスの種類番号

(1) 介護職員処遇改善加算

介護職員処遇改善加算は体制加算です。従って、処遇改善加算があるサービスでは、事業所登録のサービス内容は、平成24年4月1日～の履歴が自動的に追加され、処遇改善加算は“なし”に設定されています。



処遇改善加算のあるサービスで加算を算定する事業所は、事業所のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を開いて、“加算Ⅰ”か“加算Ⅱ”か“加算Ⅲ”を設定してください。

(2) 訪問看護(13)

訪問看護(13)では、これまでの“訪問看護ステーション”、“病院又は診療所”に、新たに“**定期巡回・随時対応サービス連携**”が加わりました。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護(76)の連携先事業所では、**施設連番**を使用して“定期巡回・随時対応サービス連携”を登録してください。つまり、本来の“訪問看護ステーション”などとは別に“定期巡回・随時対応サービス連携”を**施設連番 01**で追加登録することになります。

(3) 通所介護(15)

通所介護(15)の**個別機能訓練加算**は従来からⅠ・Ⅱがありましたが、今回の改定で、従来のⅠは廃止されました。そして、従来のⅡがⅠになり、**新たにⅡ**ができました。

旧	新
個別機能訓練加算Ⅰ(27単位) → 廃止	
個別機能訓練加算Ⅱ(42単位) → 個別機能訓練加算Ⅰ(42単位)	
	→ 個別機能訓練加算Ⅱ(50単位)・ 新規加算



事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、望ましい加算に変更してください。

(4) 通所リハ(16,66)

通所リハ(16)では、これまでの“通常規模の事業所”、“大規模の事業所(Ⅰ)”、“大規模の事業所(Ⅱ)”のそれぞれが、**病院・診療所と介護老人保健施設**に分かれました。病院・診療所と介護老人保健施設は、**所定単位数は同じですが、6桁のサービスコードは異なります**ので、正しい型を設定していない場合は返戻されると思われます。

通所リハ(16)の平成24年4月1日～の事業所登録のサービス内容は次のように設定されています。

通常規模の事業所	→ 通常規模の事業所(病院・診療所)
大規模の事業所(Ⅰ)	→ 大規模の事業所(Ⅰ)(病院・診療所)
大規模の事業所(Ⅱ)	→ 大規模の事業所(Ⅱ)(病院・診療所)

同じように、介護予防通所リハ(66)のサービス内容は次のように設定されています。

なし	→ 病院又は診療所
----	-----------



事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、介護老人保健施設の場合は、事業所施設区分を変更してください。

(5) 短期入所生活介護(21)

短期入所生活介護(21)の**緊急時短期入所体制確保加算(40単位)**は体制加算です。



事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、算定する場合は“あり”に変更してください。

(6) 老健の短期入所療養介護(22,25)

老健は、**人員配置区分**が、通常型老健では**従来型**と**在宅強化型**に、介護療養型老健では**療養型**と**療養強化型**になりました。従来型(療養型)と強化型では所定単位数が異なります。

平成24年4月1日～の事業所登録のサービス内容は**人員配置区分**が、通常型老健は“従来型”に、介護療養型老健は“療養型”に設定されています。



事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、強化型の場合は**人員配置区分**を変更してください。

(7) 介護老人福祉施設入所：特養(51,54)

■多床室

特養の施設入所(51,54)では、**多床室**が、平成24年4月1日**以前**に整備されたものと、平成24年

4月1日後に整備されたものとで所定単位数が異なります。

このため、Ver900では、利用者登録の**介護履歴**で居室区分が多床室の利用者は、平成24年3月31日でいったん履歴が切られ、平成24年4月1日～の履歴が自動的に追加されて、居室区分は“多床室(平成24年4月1日以前に整備)”となっています。



多床室の利用者については、利用者登録の**介護履歴**の平成24年4月1日～の履歴を確認して、平成24年4月1日後に新設の多床室の場合は**居室区分**を変更してください。

■口腔機能維持管理体制加算

従来の**口腔機能維持管理加算**(30単位)は口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)となり、同じ名前の**口腔機能維持管理加算**(110単位)が新たにできました。口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)は、その名のとおり体制加算です。



口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)を算定する場合は、事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を開いて“あり”に変更してください。

(8) 介護老人保健施設入所：老健(52)

■人員配置区分

老健は、**人員配置区分**が、通常型老健では**従来型**と**在宅強化型**に、介護療養型老健では**療養型**と**療養強化型**になりました。従来型(療養型)と強化型では所定単位数が異なります。

平成24年4月1日～の事業所登録のサービス内容は**人員配置区分**が、通常型老健は“従来型”に、介護療養型老健は“療養型”に設定されています。



事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、強化型の場合は**人員配置区分**を変更してください。

■口腔機能維持管理体制加算

従来の**口腔機能維持管理加算**(30単位)は口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)となり、同じ名前の**口腔機能維持管理加算**(110単位)が新たにできました。口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)は、その名のとおり体制加算です。



口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)を算定する場合は、事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を開いて“あり”に変更してください。

(9) 介護療養型医療施設入所(53)

■口腔機能維持管理体制加算

従来の**口腔機能維持管理加算**(30単位)は口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)となり、同じ名前の**口腔機能維持管理加算**(110単位)が新たにできました。口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)は、その名のとおり体制加算です。



口腔機能維持管理**体制**加算(30単位)を算定する場合は、事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を開いて“あり”に変更してください。

(10) 小規模多機能型居宅介護(73)

小規模多機能型居宅介護(73)の市町村独自加算は、従来の**独自加算1(100単位)～10(1000単位)**から、**独自加算1(50単位)～20(10000単位)**になりました(・・増えました)。

平成24年4月1日～の事業所登録のサービス内容は次のように設定されています。

市町村独自加算1 (100単位) → 市町村独自加算1 (50単位)

市町村独自加算 10(1000 単位) → 市町村独自加算 10(500 単位)



市町村独自加算がある場合は、事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を確認して、適した独自加算を設定してください。

(11) 認知症対応型共同生活介護(32,38,,37,39)

認知症対応型共同生活介護(32,38,,37,39)は事業所施設区分に“Ⅰ型”と“Ⅱ型”ができました。

1ユニットの場合 … Ⅰ型

2ユニット以上の場合 … Ⅱ型

平成24年4月1日～の事業所登録のサービス内容は“Ⅰ型”に設定されています。



2ユニット以上の場合、事業所登録のサービス内容の平成24年4月1日～の履歴を開いて、“Ⅱ型”に変更してください。

3. Ver840で4月以降のサービスを入力している場合

既存のVer840で4月以降のサービスを入力している場合は、処遇改善加算のあるサービスでは、ほぼすべて、修正や入力のし直しが必要になります。

3.1 『給付(予防給付)』のスケジュール

(1) 処遇改善加算

処遇改善加算があるサービスで処遇改善加算を算定する事業所は、①事業所登録のサービス内容の処遇改善加算を“あり(加算Ⅰor加算Ⅱor加算Ⅲ)”に設定して、②スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。

(2) 通所介護(15)

個別機能訓練加算を算定する事業所は、加算そのものが変わっていますので、①事業所登録のサービス内容の加算を確認して、②スケジュールデータを“修正”して正しい加算にするか、削除して登録し直してください。

(3) 通所リハ(16,66)

施設区分が、病院・診療所と老健に分かれましたので、①事業所登録のサービス内容の施設区分を確認して、老健の場合は②スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。病院・診療所と老健では単位数は同じですが6桁のサービスコードは異なります。

(4) 老健の短期入所療養介護(22,25)

老健は人員配置区分が従来型と強化型になりましたので、①事業所登録のサービス内容の人員配置区分を確認して、強化型の場合は②スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。

(5) 小規模多機能型居宅介護(73)

市町村独自加算が変わりましたので、市町村独自加算がある場合は、①事業所登録のサービス内容の市町村独自加算を確認して、②スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。

(6) 認知症対応型共同生活介護の短期利用(38,39)

施設区分に“Ⅰ型”と“Ⅱ型”ができましたので、①事業所登録のサービス内容の施設区分を確認して、②スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。

(7) 短期入所の食費・居住費の利用者負担限度額

第3段階のユニット型個室の利用者負担限度額は1,640円から**1,310円**になりました。このため短期入所生活介護(21,24)、短期入所療養介護(22,23,25,26)で、第3段階の利用者でユニット型個

室を使用している場合は、スケジュールデータを“修正”するか、削除して登録し直してください。

(8) 同意・締め処理をしている場合

同意や月締め処理をしている場合は、すべて**解除**されます。



上記以外にも対応が必要な場合があるかも知れませんが、まことにお手数ですが、すべてのスケジュールデータについて、意図している単位数・サービスコードになっているかを確認してください。

3.2 『まい・通所』

入力済みのデータはいったん全て削除されます。事業所施設区分、サービス時間の長さ、各種加算などを確認して入力し直してください。

3.3 『プラン』

(1) 介護老人福祉施設：特養(51,54)

すでに入力している加算はそのままですが、多床室の区分を確認して、新たな加算は入力してください。

(2) 介護老人保健施設：老健(52)

すでに入力している加算はそのままですが、人員配置区分を確認して、新たな加算は入力してください。

(3) 介護療養型医療施設(53)

すでに入力している加算はそのままですが、新たな加算は入力してください。

■ Ver 9.0.0の機能制限

ご迷惑をおかけしますが、Ver 900ではいくつかの機能制限があります。

(1) 『まい・給付』

限度額試算画面は使用できません。

(2) 『まい・請求』

『まい・請求』は2012年4月の改定には対応できていません。金額が正しくでない、または、エラーになる可能性があります。

(3) 『まい・ヘルパ』

時間の区分は従来のまま(15分)になっています。

(4) 統計

統計帳票は正しい数値は出ません。

(5) 各種CSVツール

各種CSVツールは2012年4月の改定に対応できていません。正しくでない、または、エラーになる可能性があります。

■ Ver 9.0.0の留意点

Ver 900では機能制限の外にも、いくつかの留意点があります。

[主として『まい・給付』まわり]

- (1) 多くのサービスで単独加算が増えましたので、**単独加算サービス登録画面**でサービスと加算を選択する方式に変えています。ここで算定できる加算は、訪問介護(11)、訪問看護(13)、訪問リハ(14)、通所リハ(16)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護(76)、小規模多機能型居宅介護(73)、複合型サービス(77)です。要支援の利用者でも同じサービス画面が表示されますが、単独加算があるサービスは、予防訪問介護(61)、予防訪問看護(63)、予防訪問リハ(64)、予防小規模多機能型居宅介護(75)

です。

単独加算は同時に算定できないものなどがありますが、あまり厳しいチェックは行っておりません。

(2) 訪問介護(11)の身体介護20分未満(170単位)は、日中算定するためにはいくつかの要件が必要です。利用者や事業所が要件を満たしていることをご確認の上、使用してください。

また、**生活援助**や**身体生活**は時間の区分が変わっています(25分きざみなど)ので、必ず、単位数や6桁コードを確認してください。・6桁コードの一覧は弊社ホームページに上げています。

(3) 通所介護(15)は時間の区分が変わっています。

(4) 介護予防通所介護(65)、介護予防通所リハ(66)などでは同一建物に対する減算(要支援1で-376単位)などがあり、月途中での利用開始・終了などで、契約日数が5日以下の場合は、単位数全体が**マイナス**になってしまう場合があります。他にもこのようなパターンがありますが、このような、単位数全体がマイナスになるような場合は0(ゼロ)までの減算で終わりになります(平成24年3月16日Q&A問132)。



このような場合は、サービス事業所の国保連への請求もありません(・従って、給付管理票もありません)ので、**スケジュール画面でサービスそのものを削除してください。**

(5) 居宅介護支援費の運営基準減算は2カ月目からは100%減算となり、結果、居宅介護支援費を請求できなくなります。しかし、その利用者も給付管理票を作成する必要がありますので、その場合でも、『給付』では通常どおりに締め処理をしてください。

そして、給付管理票は通所どおりに作成して、**居宅介護支援費の請求では、その利用者のチェックを外してCSVを作成してください。**

[運用まわり]

(1) 起動時のクリーンアップ

起動時に自動的にローカルデータを初期化します。「**クリーンアップ中**」のメッセージが出ます。

(2) 起動時の自動一時バックアップ

スタンドアロンとピアツーピア親機の場合、1日の最初の起動時に**データを自動的にバックアップ**します。バックアップ時は、ログイン表示までに少し時間がかかります。

(参)バックアップは最適化パスに設定されているパスの¥YCbac kup配下に

YcBac kup__yyymmdd.lzh の名前で保存されます。

(3) 自動オフライン化

スタンドアロンとピアツーピア親機の場合、毎月16日以降の初回起動時に「オフライン化しますか？」のメッセージが出るようになります。「はい」を選択すると、**5年1カ月以上前のデータ**をオフライン化します。データ量によっては少し時間がかかります。ただし、モバイル持ちだし中や他端末で使用中の場合などはオフライン化しません(・メッセージが出されません)。

■ Ver 9.0.0での改善

・すでにホームページでリリースしているものも含まれています。

1. 『登録』

① 2012年4月の改定に対応しました。

② 「ゆう！ケア」起動時にローカルデータを初期化するようにしました。

③ 「ゆう！ケア」起動時に自動でデータをバックアップし、7日分保持するようにしました。

④ 月に1回、「ゆう！ケア」起動時に5年より前のデータを自動でオフライン化するようにしました。

⑤ 2011年4月以降の社福軽減率に対応しました。

⑥ 受給者登録の基本情報で、被保険者番号が10桁未満の場合に前0が付かないことがある件を修正しました。

- ⑦ 受給者登録の介護履歴で、事業所名が変更された場合に、古い事業所名が表示される件を修正しました。
- ⑧ 事業者登録で、終了している事業所は表示しない設定ができるようにしました。
- ⑨ 事業所サービス登録で、通所リハの事業所を連番で複数登録できるようにしました。
- ⑩ 事業所詳細帳票を廃止しました。
- ⑪ 支援専門員の一覧選択画面で、登録順に表示できるように登録日の表示を追加しました。
- ⑫ 単位単価マスタ画面を廃止しました。

2. 『アセスメント』

- ① 受給者の住所等が変更された場合に、常に最新の情報が表示される件を修正しました。(作成時点の情報が表示されます。)
- ② 「まい・居宅」のフェースシート帳票に、緊急連絡先および相談者の郵便番号を表示するようにしました。
- ③ 「まい・包括」ケアチェック表の誤字を修正しました。
- ④ カレンダーに不正な祝日が表示されることがある件を修正しました。

3. 『介護サービス計画』

- ① 受給者の住所等が変更された場合に、常に最新の情報が表示される件を修正しました。(作成時点の情報が表示されます。)
- ② 支援経過の「第〇表」を新しい表記にしました。
- ③ 「まい・予防ケア」の介護予防支援・サービス評価表を新しい表記にしました。
- ④ サービス計画書(2)で、文字数制限をなくし、自由に入力できるようにしました。(ただし、印刷できる行数には制限があります。)
- ⑤ サービス計画書(2)の期間欄を広げました。
- ⑥ サービス計画書(2)の期間の入力方法を変更しました。
- ⑦ サービス計画書(2)の※1をサービス種別単位に設定できるようにしました。
- ⑧ 週間サービス計画が、登録単位で削除できるようになりました。
- ⑨ サービス担当者会議の会議出席者欄で、F1キーで担当者を選択した場合に所属事業所も反映するようにしました。
- ⑩ サービス計画書(1)で、印刷時の高さを入力内容に合わせて自動調整できるようにしました。
- ⑪ サービス計画書(2)で、印刷時の高さを入力内容に合わせて自動調整できるようにしました。
- ⑫ 週間サービス計画表で、30分の場合に帳票印刷すると表示が切れてしまう件を改善しました。
- ⑬ サービス計画書(1)およびサービス担当者会議の帳票で、プリンタによって右端が欠けてしまう件を修正しました。
- ⑭ サービス計画書(2)の番号欄で行の追加等を行うとエラーになることがある件を修正しました。
- ⑮ 「まい・包括」サービス計画書(1)④で、日数が削除できないことがある件を修正しました。

4. 『まい・給付』

- ① 2012年4月改定後のサービスコード(2012年2月27日暫定版マスタ)に対応しました。
- ② 単独加算を複数登録できるようにしました。
- ③ サービス登録画面で、時間をマウスで設定できるようにしました。
- ④ 個別機能訓練「なし」に設定しても、修正で開くとサービス登録画面に単位数が表示されることがある件を修正しました。
- ⑤ 5時間以上の身体生活で不正なサービスコードが算定されることがある件を修正しました。
- ⑥ 短期入所30日超過の判定を2年までできるようにしました。
- ⑦ 2006年3月以前の月末締め切りでエラーになる件を修正しました。
- ⑧ サービス利用票/提供票をプレビューした場合も、終了時に保存確認メッセージを表示するよう

にしました。

- ⑨ サービス利用票／提供票に特別管理加算・緊急時訪問看護加算も表示するようになりました。
- ⑩ サービス利用票／提供票の受給者名を一部非表示にできるようにしました。
- ⑪ サービス利用票／提供票の表示順を、事業所ごとにまとめる設定ができるようになりました。
- ⑫ サービス提供票の提供事業所強調表示を、色指定できるようにしました。
- ⑬ 提供票一括印刷時、送付状のみ印刷できるようにしました。
- ⑭ 送付状にコメントを追加できるようにしました。
- ⑮ 事業所名が長い場合に、送付状の宛名が不正に表示される件を修正しました。
- ⑯ 提供票一括印刷時、0件の送付状が出ることもある件を修正しました。
- ⑰ 提供票一括印刷時、1件ずつ出力指定の場合に送付状も分割して印刷するようになりました。
- ⑱ スケジュール帳票で、月途中の認定の場合に受給期間が正しく表示されないことがある件を修正しました。
- ⑲ 給付メニューで、受給者一覧の表示幅を広げました。
- ⑳ 介護支援加算一覧帳票に合計行を追加しました。

5. 『まい・レセプト』

- ① 2012年4月の改定に対応しました。
- ② 給付管理票で、サテライト事業所と本体事業所が別に出力される件を修正しました。
- ③ 介護給付費明細書にサテライト事業所名が正しく表示されないことがある件を修正しました。
- ④ 国保請求一覧で100件を超えると番号が正しく表示されない件を修正しました。
- ⑤ 支援費用レセプトCSV作成時の算定の目安で、予防支援受託件数が正しく表示されないことがある件を修正しました。

6. 『まい・プラン』

- ① 2012年4月の改定に対応しました。
- ② 在宅復帰支援加算ⅠとⅡを指定して設定できるようにしました。(2012年3月以前)

7. 『まい・通所』

- ① 2012年4月の改定に対応しました。
- ② PP/CSで起動が遅い件を改善しました。
- ③ PP/CSで、保険外費用が入力されていると給付取込でエラーになることがある件を修正しました。
- ④ 給付取込利用者も利用情報入力画面で編集できるようになりました。
- ⑤ 「機能訓練加算Ⅱ」を算定した場合、利用状況一覧や利用者一覧選択の加算欄に回数が表示されない件を修正しました。
- ⑥ 利用明細書(月間)に医療費控除を表示できるようにしました。
- ⑦ 請求書・領収証で、利用者住所の表示／非表示を指定できるようにしました。
- ⑧ フェイスシート帳票に「要支援」が表示されない件を修正しました。
- ⑨ 通所介護計画書(1)の契約同意署名欄を広げました。
- ⑩ 通所介護計画書(1)に家族署名欄を追加しました。
- ⑪ 利用集計一覧表に事業所名・事業所番号を表示するようになりました。
- ⑫ 利用時間集計表を追加しました。

8. 『まい・ホーム／まい・ハウス』

- ① 「まい・ホーム」に、利用者一覧帳票を追加しました。
- ② 「まい・ホーム」で看取り介護加算の日数を指定できるようにしました。
- ③ 「まい・ホーム」で、短期利用を12/31に登録後、1/1に登録するとエラーになる件を修正しました。

※おことわり：

『まい・ホーム／まい・ハウス』は2012年4月の改定には対応できておりませんので、国保連への請求では、レセプト業務の“提供サービス入力”を使用してCSVを作成してください。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、なにとぞご了承ください。

9. 『まい・ヘルパ』

- ① スケジュールコピー機能を追加しました。
- ② 受給者スケジュールリングで週間展開機能を追加しました。
- ③ 保険外項目を3つまで設定できるようになりました。
- ④ スケジュール画面でサービス金額詳細表示を復活しました。
- ⑤ スケジュール入力時に最下行がスクロールバーに隠れてしまう件を修正しました。

10. 『まい・請求』

- ① 請求編集で「介護履歴に登録済の受給者だけ表示」の場合に、介護履歴を終結している利用者は表示しないようにしました。
- ② 請求編集で、回数などを一括で変更すると不正になることがある件を修正しました。
- ③ 請求編集で、作成した請求履歴を読み込んで修正すると、保存できないことがある件を修正しました。
- ④ 請求編集で、費用マスタの前月コピー機能を追加しました。
- ⑤ 負担者登録で、保存後に表示が一覧の先頭に戻ってしまう件を修正しました。
- ⑥ 請求書／領収証(明細1)が2ページ以上になる場合、2ページ目以降の請求金額を表示しないようにしました。
- ⑦ 請求書／領収証(明細1)で、請求書と領収証を同時に印刷できるようにしました。
- ⑧ 請求書／領収証明細に保険外費用の合計を表示するようにしました。
- ⑨ 高額介護サービス費を無効にしている場合、医療費控除の計算に高額介護サービス費を適用しないようにしました。
- ⑩ 請求書／領収証(窓付き封筒明細)の領収証に「〒」表記が抜けている件を修正しました。
- ⑪ 居宅サービス領収証(医療費控除)の印刷時に、編集画面の年月に作成月を表示するようにしました。
- ⑫ 集金代行オプション(全銀標準版)でCSVファイルの引落日に不正な日付が設定されることがある件を修正しました。
- ⑬ 自動引落対象者の請求書／領収証(窓付き封筒明細)で、振替日に不正な日付が表示されることがある件を修正しました。
- ⑭ 請求CSVツールで、明細CSVの項目名に誤りがある件を修正しました。

11. 『ツール、他』

- ① 「データ保管ツール」を、参照モードで常に起動できるようにしました。
- ② 「統計ツール」で、介護履歴に施設と居宅の両方を登録していると不正な行が表示される件を修正しました。
- ③ 「統計ツール」に、居宅介護支援事業所向けの利用事業所一覧を追加しました。
- ④ 「バックアップツール」および「まい・レセプト」のCSVバックアップで、UNLHA32.DLL が削除されている場合に、バックアップができなくても正常終了してしまう件を修正しました。